
第二回学際物質戦略イニシアチブ バイオグループシンポジウム -可視化と治療-

9:59-10:00 ご挨拶

長崎幸夫

10:00-10:30 蛍光を用いたマウスin vivoイメージング:

筑波大医 三輪 佳宏

10:30-11:00 光干渉断層法と特殊光観察法の併用による
内視鏡下ビジュアルキネティクスの可能性につ
いて

金沢大工 田中志信

11:00-11:30 天然の金属酵素に学ぶ分子認識と反応

東京理科大薬 青木 伸

11:30-12:00 Targeted Radiotherapy

金沢大医 絹谷清剛

13:00-13:30 ワーバーグ効果と可視化

筑波大医 松井裕史

13:30-14:00 トランスポーター活性を利用した医薬品開発

金沢大薬 玉井郁巳

14:00-14:30 ビジュアルキネティクスによる体内物流解析と
個別化医療

金沢大保健 川井恵一

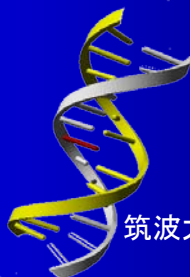
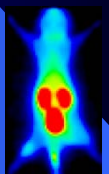
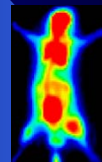
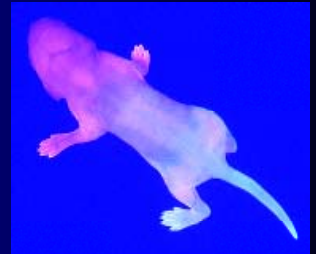
14:30-14:40 休憩

14:40-15:10 小線量放射線の免疫疾患治療への応用の可
可能性

東京理科大薬 小島周二

15:10-15:40 pHに応答するナノ粒子の設計と評価

筑波大物質 長崎幸夫



2009年3月 16日(月)

筑波大学東京キャンパス (秋葉原地区) 講義室 1

〒101-0021 千代田区外神田1丁目18-13

秋葉原ダイビル14階

主催 筑波大学学際物質戦略イニシアチブ

国際ナノアーキテクトニクス研究センター

共催

共催

文部科学省振学術領域研究「ソフト界面」

TIMS